

災害時トイレ対応

学校や保育所が避難所になったときのトイレの対応

1 被災直後の応急トイレ

①既存トイレの使用禁止

- ・避難所として施設を開放するときに、既に断水している場合はトイレの使用を禁止します。
- ・ **2** の屋内既存トイレの対応に従って、チェックと準備を終えてから状況に合わせて使用するようになります。

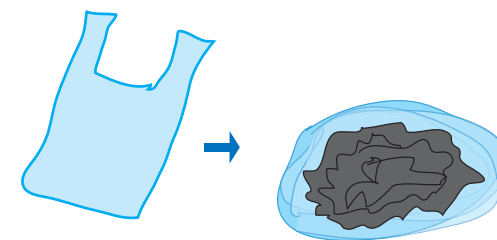
②ビニール袋と新聞紙

- ・被災直後は避難所も混乱します。停電、断水で既設トイレも通常通りは使えず、備蓄している災害用トイレもうまく行き渡らないことがあります。

被災直後の応急トイレとしてレジ袋と新聞紙を組み合わせた即席便器が便利です。

レジ袋を広げて、くしゃくしゃにした新聞紙を敷いて使います。

使用済みの袋はゴミとして処理することになりますので、汚物であることがわかるように明記し、屋外にまとめて集積します。

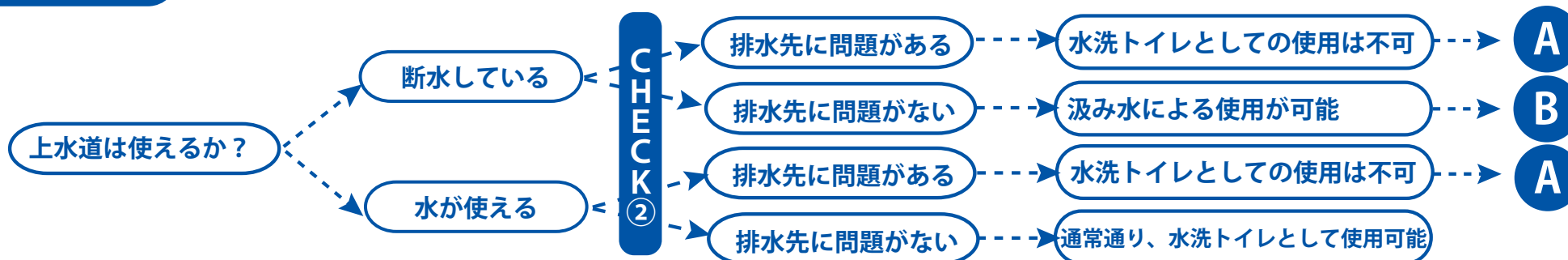


地面に穴を掘る→×

- ・校庭や園庭に穴を掘ってトイレ代りにしようとする人もいますが、慣れない人が掘る穴は浅くて広い穴になってしまうので、数回使うだけで使えなくなってしまいます。自衛隊のようなプロの人が掘る穴は細く深く掘ることができるのでしばらくは利用が可能です。また屋外では目隠しとしての建屋が必要になるので、準備が大変です。避難直後の方法としては適していません。

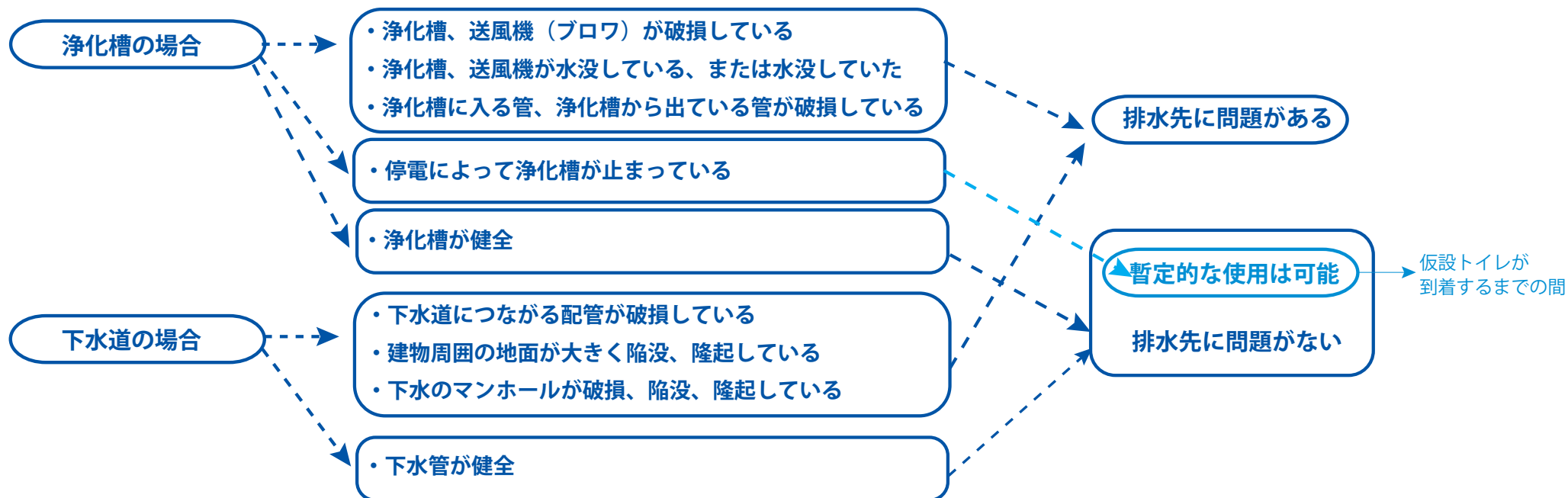
2 屋内既存トイレの対応 *建物が安全な場合

CHECK① 上水道のチェック



CHECK② 排水先のチェック

*排水先の状況を見極めるのは難しいため、使い始めてもすぐに配管が詰まったり溢れることがある。そういう場合は速やかに使用を中止する。



A 屋内既存トイレを災害時用トイレなどと組み合わせて使用する

- ① トイレの水が流れなくても、トイレ空間を利用することは可能です。
災害時用トイレパックなどを活用しましょう。
- ② 洋式便器の水を排水する。灯油などを給油するときに使うポンプがあれば簡単に排水できます。
- ③ トイレパックの袋を便器にセットします。
- ④ 使用後は袋の空気を抜きながら口を閉じます。
- ⑤ 使用済みのトイレパックはゴミ袋に入れてまとめます。一般ゴミとは違うことがわかるように保管場所を分けたり、ゴミ袋の表面に明記します。ニオイが出る可能性があるため屋外に集積するのが望ましいです。
- ⑥ トイレパックの数が不足しているときは、ひとつのトイレパックを複数回使うなどの工夫をしてください。
- ⑦ お年寄りには使い方がわかりにくいこともありますので、しばらくはトイレに人を配備して、使い方を説明するとスムーズに使えるようになります。
- ⑧ 和式便器の場合も便器の水を排水して、そのままトイレパックの袋をセットして使用することもできます。
- ⑨ 和式便器の上にポータブルトイレや簡易トイレを置いて使用する場合で、トイレブースの扉が内開きの場合は扉を外します。扉の代わりに布や紙、床シートなどを使って目隠しします。
- ⑩ この方法でトイレを使用する場合に便利なポスターを別紙にまとめています。



災害用トイレパック（携帯トイレ）
（株式会社総合サービス）



和式便器用キット
（株式会社総合サービス）

B 屋内既存トイレを汲み水によって使用する

- ① プール、池、給水車などから水の確保が可能であることが条件です。
- ② トイレにゴミバケツのような大きな容器を用意し、水を貯めます。
- ③ 洗面器やボールを用意し、①の大きな容器から小分けに汲み出せるようにします。
- ④ トイレを使用後は③の洗面器かボールを使って水を便器に一気に流します。
ペットボトルなどでは水の勢いが出ないので効果がありません。
- ⑤ トイレトペーパーは流れにくいので、便器には流さず、ゴミ袋を各トイレブースに用意してその中に捨てます。
- ⑥ 水を流すのは大便のときだけに限定すると、汲み置き水の節水ができます。
- ⑦ 汲み置き水はすぐになくなるので、こまめに水の補給が必要。また補給には体力も要します。
避難者やボランティアにも協力してもらってください。
- ⑧ この方法は普段よりも少ない水で水洗トイレを使用するため配管が詰まりやすくなります。仮設トイレが到着するまでの暫定使用として考えるのが望ましいでしょう。

*この方法でトイレを使用する場合は別添えのポスター2をご利用ください。

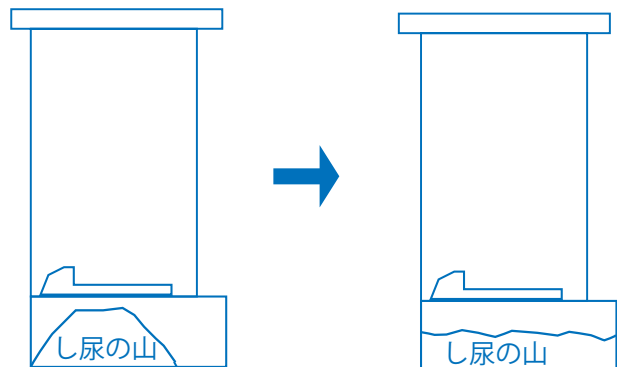
3 仮設トイレの対応

設置場所

- 地面が平らで舗装されているところが望ましいです。（土の上は雨天時にトイレが汚れやすく足元もぬかるみます）
- 屋外で軒や屋根があるところが望ましいです。
（夜間や雨天の利用を考えると安全です。電気復旧後は照明も確保しやすいです）
- トラックで搬入、搬出しやすい場所
- 汲み取り車（バキュームカー）がアクセスしやすい場所
- ニオイの問題がありますが、避難している建屋からあまり遠いと利用が不便です。

使用方法

- 仮設トイレが届いても、汲み取り体制が整っていない場合があります。できるだけ効率よく便槽の容量を使うために工夫します。
- 少しでも長く使用できるように使用済みのトイレットペーパーは便槽に投棄せず、ゴミ袋を用意してその中に捨てます。
- 便槽のし尿はピラミッド状に積みあがってゆきますので、満タンになったと思ってもまだ倍の容量は使用できることが多いです。汲み取り体制が間に合わない場合は、棒などでピラミッドの上部を崩して平坦にして使用を続けてください。



4 手洗い・消毒の徹底

断水時は水で手を洗うことができませんが、用足し後の手の衛生は、感染症を防ぐためにもとても重要です。日ごろから消毒液、消毒スプレーなどを備蓄しておくことをお勧めします。

- ①水道が復旧した場合は、石鹸を設置し、手を洗えるようにします。タオルは共同使用は避けます。
- ②水道が復旧しない場合は、消毒剤による衛生管理を行います。トイレの出入り口に置いて、必ず消毒を行うように避難者に促します。（平常時には手洗いをしなくて平気でも、避難生活時は徹底することが必要です）
- ③平常時はトイレに専用の履物を設置していない場合でも、避難生活時はトイレ用の履物を設置し、履き替えを行うことをお勧めします。
- ④履き替えができない場合は、出入り口に消毒マットを設置します。
消毒マットとは、オムツシート（パンツ型ではない四角いシート状の吸水シート）などに消毒液をしみこませ、足をぬぐってから寝起きをしている場所に戻るようにします。

5 日ごろからの災害用トイレの備蓄

避難者が訪れるようになると、トイレの問題は直後から生じます。施設の外からの物資の配給には時間がかかります。避難所になることが考えられる施設では必要最低限の災害時グッズとして、水などと共に災害時用トイレ用品をあらかじめ備蓄しておく必要があります。

6 その他

保育所が避難所になる場合、トイレは子ども用サイズなので大人には使いづらいですが、職員用トイレを含め、トイレごとに区分けをして男女別に使えるようにします。

トイレの利用者の方へ

- 水が流れません！
- 災害時用トイレの袋を広げて
便器にセットして使用してください。

- 使用後は袋の口を閉じて、
空気を抜いて所定のゴミ袋に
入れてください。



トイレの利用者の方へ

- 使用済みのトイレットペーパーは
便器に流さず、備え付けの
ゴミ袋に入れてください。
- 使用後は水を容器に汲んで
勢いよく流してください。